



教育目標 心豊かで、高い知性をもつ、健康な生徒の育成

ひとつの詩が変えた陸上部 ～修了式の式辞から～

令和二年度の草津中通信もこれが最終号となります。一年間お読みいただきありがとうございます。

大阪のある中学校の陸上部でのことです。新しい顧問の先生が異動したところ、部員に「おはよう」とあいさつをしても、聞こえないふりをしているような状態だったそうです。そういう雰囲気だと大会での成績はどうだったか想像してみてください。

やはり、参加してもまったく勝てない状態だったそうです。勝てないどころか出場さえしなかったくらいレベルでした。そこで、新しい顧問の原田先生はとにかく靴をそろえることを徹底したそうです。続けること六年間、全国で優勝する選手が出てくる強豪校に変身していったのです。

原田先生は何か魔法を使ったのでしょうか。いいえ、ひとつの詩を部室に貼り、いつも部員に呼びかけていたのだそうです。せっかくなので、その詩を紹介します。

はきものをそろえると 心もそろおう
心がそろおうと はきものがそろおう
ぬぐとときにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきつと
世の中の人の心もそろおうでしょう。

実は、この詩は長野県のあるお寺の和尚さんがつくりました。そのお寺は、修行のなかに「履物をそろえる」という行為を組み込んでいたのだそうです。履物をそろえることは「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」ことにつながると考えていたのです。

教員は他の学校に行ったとき、玄関や便所が整理されているかを気にします。そこを見れば、その学校の生徒の様子はだいたいわかるからです。もちろん、他校の先生が草津中に来たときにもそこを見ていくでしょう。部活動で、自分の使う道具を自ら整頓していない部、先輩がいばって下級生に道具の準備や片付けを押しつけている部、全国レベルで活躍する部にはそんなところはまずありません。

四月から草津中にも一年生が入ってきます。新入生を戦力にしないと間に合わない部もあることでしょう。あわてずに、まず、先輩が下級生によいお手本を示してあげることが集団の向上に直結します。よろしく願います。



卒業式準備の様子からも進級の自覚が感じとれました

全日本中学生選抜スキー大会 3/13、14

男子クラシカル 10 km 5位 山口仁太郎
男子フリー 10 km 4位 山口仁太郎
来年以降も活躍が楽しみです！

〈4月前半の予定〉

- 7日(水) 新任式・入学式・始業式
- 8日・9日 NRT (前年度の内容のテスト)
- 8日(木) 生徒会・部活オリエンテーション
- 13日(火) 身体測定・個人写真撮影
- 14日(水) 生徒会朝礼
- 15日(木) 歯科検診①
- 19日(月) 集金日
- 22日(木) 学校経営説明会・懇談会・部活動保護者会
- 23日(金) 避難訓練
- 24日・25日 中体連春季大会



タブレットPCは
学年集会でも
ペーパーレス化に向
け、プリントを配布する
代わりに使用しました。